

お子さんの歯ならび・かみ合わせが、次のような状態の時は
かかりつけ歯科で相談しましょう。

下の歯が出た状態 (受け口、下顎前突、反対咬合)

下の歯が上の歯よりも前
に出てかむ状態です。乳歯
の時は、一時的に起こること
もあります。



前歯が当たらない かみ合わせ (開咬)

奥歯をかんでいても、前歯
が当たらない状態です。

指しゃぶりや口の周りの筋
力が弱いことなどが関係していることもあります。



上の歯と下の歯が ずれている (側方偏位)

上と下の歯がずれている状
態です。そのまま、成長する
と顔に左右差が出ることがあ
ります。



出っ歯 (上顎前突)

上の歯が、かなり出た状
態です。指しゃぶり等が関係
していることがあります。



指しゃぶりは?

お腹の中の赤ちゃんも、
指しゃぶりをしていること
があります。それには生
まれてすぐに、おっぱいを
吸えるように練習をしてい
る説もあります。



指しゃぶりは乳児のほとんどにみられます
が、だんだんと成長とともに減ってきます。た
だ、指しゃぶりをしていると歯ならびが悪くなる
ため、早めに卒業した方がよいでしょう。

指しゃぶりをどんな時にしているかを観察し
て、本人に自覚してもらい、徐々に減らしてい
きましょう。

歯ならびはいつ頃相談にいけばいいの?

最近は、食べる・話す・呼吸などの機能が十
分に獲得できていないお子さんが増えてきて
います。それが理由で、歯ならびが悪くなるこ
ともあります。

小さい頃から、かかりつけ歯科で定期健診を
行うなかで、それぞれの年齢に応じた、歯の状
態、成長発育等を相談しましょう。



協力 / 三重県歯科医師会

〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>

日本歯科医師会
PRキャラクター よ坊さん(三重県)

